

2025年度前期授業アンケートのサマリー

1 はじめに

平素は本学FD活動にご協力下さり有難うございます。2023年度前期に授業アンケートの設問の見直しが見られ、今回の2025年度前期授業アンケートは、見直し後5度目の実施となります。先生方のご協力により、滞りなく実施することができました。収集したアンケート結果を検討する形でまとめましたので、ご参照いただければ幸いです。なお本集計には大学院科目とゼミナールは含めておりませんので、末尾の参考資料を含む同種の集計資料と差異がある点をご了承下さい。

2 アンケートの回収状況について

今回は履修登録者延べ数85,683件に対し回答数が62,649件となり、アンケート実施率は98.0%、アンケート回収率は73.1%でした。期末のご多用な中、アンケートの回収にご協力下さり誠に有難うございます。授業アンケートはFD活動その他に関わる貴重な情報であり、引き続き回収率の維持・向上にご協力頂きたくお願い申し上げます。

3 各設問の回答結果

今回の授業アンケートのうち、単一選択(複数選択不可)の設問について、最も多かった回答とその割合を下に表に示します。

表 各設問の最も割合が高かった回答とその割合

No	質問文:教員の授業の進め方・熱意に関する設問	回答	割合(%)
1	あなたにとってこの授業の難易度は適切でしたか?	適切	57.3
2	あなたにとってこの授業の進行速度は適切でしたか?	適切	77.7
3	あなたはこの授業に意欲をもって取り組みましたか?	意欲的に取り組んだ	50.9
4	あなたはこの授業の到達目標をどの程度達成しましたか?	ある程度達成できた	58.1
5	あなたはこの授業に関して、事前・事後学習(予習、復習、課題など)を1週間平均でどの程度しましたか?	1時間	40.0
6	高い学習成果を修めてもらいたいという教員の熱意が伝わったと思いますか?	まあそう思う	43.1
総合評価に関する設問		回答	割合(%)
10	この授業は総合的に判断して良い授業であったと思いますか?	まあそう思う	36.6
11	今まで受けた授業の中で、この授業に順位を付けるとしたらどれくらいの位置づけですか?(新設)	中くらい	49.3

設問1は、「適切」に続いて「やや難しい」の回答割合19.1%と高い結果となりました。しかし2023年から「適切」が増加傾向です。設問2は、「適切」に続いて「やや速い」の回答割合が高い結果となりました。この2つの設問への回答の傾向は、2023年度、2024年度の結果と同様であり、「易しい、遅い」と感じている学生は少ない状況が続いています。

設問3は、「意欲的でない」と回答した学生は、約5%程度と少数でした。設問4は、過去の回答と同等の割合でした。設問5は、「1時間」という回答が40.0%、「学習していない」という回答が続いて多く34%でした。過去の回答と同等の割合ですが、自習時間が0から1時間という学生が7割を、3年間で微増し続けています。

設問6は、「まあそう思う」と次に多かった「そう思う」の回答で合わせると8割近くに達しています。教員の熱意は学生に伝わっていると考えられます。

設問10は、今年度も2024年度と同様に「とてもそう思う、そう思う、ややそう思う」の回答を合計すると8割を超えていました。設問11は、「下から1/3くらい」との回答が1割程度あり、受講した講義に満足していない学生の割合が一定数いることが確認されました。ただし、この傾向は3年間続いていますので改善できるとより良いかと考えます。

4 複数選択が可能な設問の回答結果

次に複数選択が可能な設問について、上位3つの回答結果とその割合を下の表に示します。

表 複数選択可能な設問の回答

No	設問	回答(上位3つ)	割合(%)
7	この授業でよかったと思うことはありますか？	話すスピード 他	18.4
		環境・雰囲気作り	16.3
		板書やパワーポ	13.0
8	この授業で改善してほしいと思うことはありますか？	特にない	60.7
		話すスピード 他	6.8
		板書やパワーポ	6.6
9	この授業で成長したと感じる能力はありますか？	教養・専門知識	19.4
		自ら継続的に学ぶ	14.3
		広い視野で考える	11.4

設問7「よかったと思うこと」の1位と、設問8「改善して欲しいこと」の2位が同じ内容(話すスピード・声の大きさ・マイクの使い方)でした。講義の受講に際して学生は、前に立つ教員の話し方に特に注意を向けていることがうかがえました。これは、2023年度2024年度も同じ結果でした。

設問7では、9つの選択肢のうち、6つの回答が10%台であり、回答が分散する結果となりました。この点も2023年度2024年度と同じ結果でした。講義での良かった点は例年同様「話すスピード 他」が最も選択されました。2番目に割合が高かったのは、「授業中の環境・雰囲気づくり」でした。これも3年間連続した結果であり、学生が授業中の環境・雰囲気づくりについても注目していることが伺えます。

設問8では、例年通り、特に不満をもっていない学生の割合が高いことが示されました。2023年度以降「特にない」の回答が増加傾向にあり、2025年度は6割に達しています。全ての項目で数値が減少しており、各教員の授業での取り組みが改善傾向にあると考えられます。

設問9は、「社会に出て活躍する際に必要な教養や基礎学力又は専門的な知識・技術」が成長したと感じる能力の割合がトップでした。「自ら継続的に学ぶ能力」が2番目に高い割合でした。これは2024年度の傾向と同様です。回答数が少なかった選択肢は、「プレゼン能力」「倫理観」でした。「プレゼン能力」については微増傾向にあるものの、社会に出てから重要視される能力でもあるので、全ての授業で対応できる内容ではないかもしれませんが、改善の余地があると考えられます。「倫理観」に関しては2023年度から微減傾向にあり、各授業の中で意識的に問いかけていく必要があるのではないかと考えます。今後の授業運営に生かしていただけますようお願いいたします。

5 おわりに

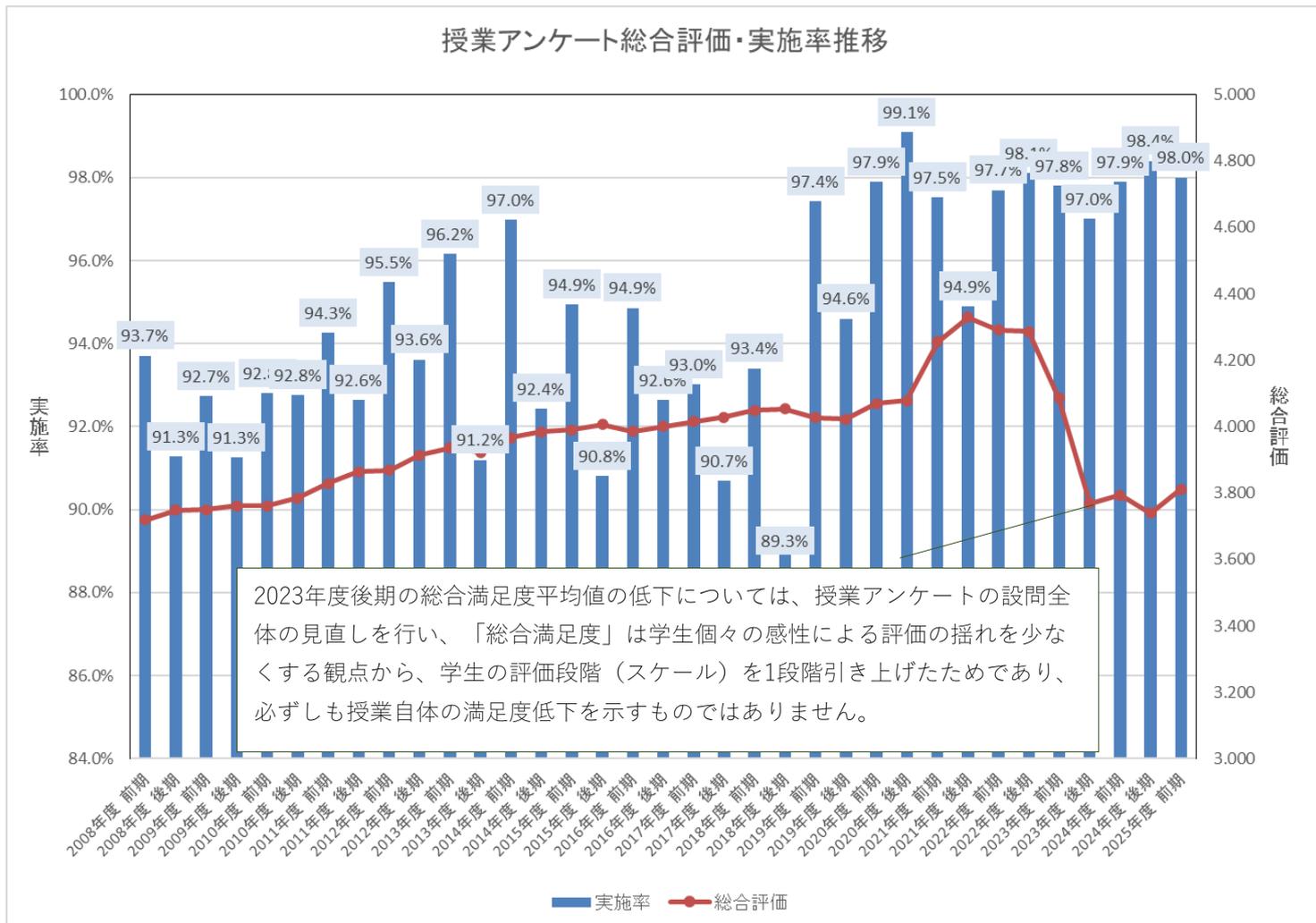
今回の授業アンケートは、2023年度前期に設問内容の一部が見直されてから、5回目の実施となりました。全体傾向として大きな変化はありませんでしたが、傾向として微増・微減傾向のある項目がありますので、引続き状況を確認していく必要があると考えます。2024年度前期と同様ですが設問1-3の結果は、大半の学生が引続き意欲をもって受講している様子がうかがえました。また、教室の雰囲気や教員の話し方・板書やパワポ等の授業上の工夫に注意を向けている様子がうかがえる結果でした。今回も教員の熱意や工夫は、しっかりと学生に伝わっており、高い満足度につながる過去の授業アンケートからも示されております。引き続き、先生方におかれましては、授業準備にご尽力いただけますようお願い申し上げます。

一方、懸念としては、学生の事前・事後学習時間が短いという傾向が見られ、2024年度より更に減少しています。事前・事後学習の定義が学生と擦り合っていないことも考えられますが、意識的に事前・事後学習を促す工夫をしていく必要があると考えられます。また、授業の難易度が高い、速度が速いと回答した学生の割合についても、やや高く、こちらも2023年度の授業アンケート以降と同様の傾向でした。事前・事後学習を通して、難易度を難しいと感じる学生に対する対応も考慮できると考えられます。

授業提供の方法論やシステムは日々進化しておりますので、継続的な情報収集・試行錯誤が益々重要となります。FD委員会では、本学が掲げる師弟同行・師弟共生の教育目標に沿った質の高い教育が実践できるよう、多角的な視点と多様な情報源から現状を捉え、改善施策を検討して参る所存です。先生方におかれましても、まずアンケート回収率のさらなる向上にご協力頂き、そのうえで授業改善に向けた積極的・継続的な試行錯誤とブラッシュアップ、またFD委員会が主催する講習会などへのご参加をお願い申し上げます。

参考資料

授業アンケート総合評価・実施率推移



■授業アンケート評価点推移（2008年前期～2025年前期）

	実施率	総合評価		実施率	総合評価
2008年度 前期	93.7%	3.718	2017年度 前期	93.0%	4.015
2008年度 後期	91.3%	3.748	2017年度 後期	90.7%	4.028
2009年度 前期	92.7%	3.749	2018年度 前期	93.4%	4.049
2009年度 後期	91.3%	3.761	2018年度 後期	89.3%	4.053
2010年度 前期	92.8%	3.762	2019年度 前期	97.4%	4.027
2010年度 後期	92.8%	3.786	2019年度 後期	94.6%	4.022
2011年度 前期	94.3%	3.829	2020年度 前期	97.9%	4.069
2011年度 後期	92.6%	3.864	2020年度 後期	99.1%	4.078
2012年度 前期	95.5%	3.868	2021年度 前期	97.5%	4.255
2012年度 後期	93.6%	3.914	2021年度 後期	94.9%	4.329
2013年度 前期	96.2%	3.936	2022年度 前期	97.7%	4.325
2013年度 後期	91.2%	3.922	2022年度 後期	98.1%	4.286
2014年度 前期	97.0%	3.966	2023年度 前期	97.8%	4.086
2014年度 後期	92.4%	3.984	2023年度 後期	97.0%	3.769
2015年度 前期	94.9%	3.990	2024年度 前期	97.9%	3.793
2015年度 後期	90.8%	4.006	2024年度 後期	98.4%	3.739
2016年度 前期	94.9%	3.986	2025年度 前期	98.0%	3.811
2016年度 後期	92.6%	4.001			

以上